

令和6年度 第2回 滋賀県渋滞対策協議会

地域WGの開催結果報告

令和7年3月14日(金)

1. 今年度の実施概要

- 今年度は、過年度実施した大津南部地域WGのさらなる対策の具体化と、新たに設置する南部甲賀地域WGでの課題共有・対策検討を目的とし、以下のとおりで開催。
- 第1回渋滞協以降に開催となった、大津南部地域WGと、第2回南部甲賀地域WGの開催結果概要について次頁以降で紹介する。

■ 令和6年度の地域WG開催概要

開催地域	開催回数	開催目的	協議内容
大津南部地域	1回	①県または市が道路管理者となっている箇所を中心に交通状況の確認及び対策の方向性について検討	第1回 (R6.11実施) <ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年度第1回WG(R5.11.28)での指摘対応状況の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回WGで指摘や要望等への対応状況を一覧として共有 ② 追加分析の実施(瀬田川渡河部の交通流動分析) <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回WGで要望のあった瀬田川渡河部の交通流動分析を実施した結果を共有 ③ 対策検討 <ul style="list-style-type: none"> ・追加分析を踏まえた対策内容(ピンポイント対策、TDM施策等)について検討した結果について協議(対象箇所は鳥居川、唐橋西詰、神領、新浜町西、新浜町交差点)
南部・甲賀地域	2回	①栗東水口道路Ⅱ周辺の交通状況の把握と共有及び課題の抽出 ②栗東水口道路Ⅱにおける整備優先区間及び短期対策(ソフト施策)の検討 ③検討状況を踏まえ、新たな主要渋滞箇所への位置付けを検討	第1回 (R6.7実施) <ul style="list-style-type: none"> ① 交通特性や渋滞状況の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の交通特性や渋滞状況などについて、ETC2.0プローブデータや交通量調査結果を用いて関係機関での共有を図り、課題の抽出する ② 対策の方向性の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体での解消に向けた取組みとして、時間のかかるハード整備だけではなく、効果的なソフト施策を検討 ・栗東水口道路Ⅱの整備に向けた課題を整理し、整備優先区間を検討 ・H25選定時から交通状況に変化のある箇所を、新たな主要渋滞箇所案への位置付けにより合意形成を図り対策をすることを検討 ③ 役割分担 <ul style="list-style-type: none"> ・対策の具体化に向けて、関係機関が実施する取組みを協議
			第2回 (R7.2実施) <ul style="list-style-type: none"> ① 令和6年度第1回WGでの指摘対応状況の共有 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第1回WGでの指摘を踏まえた交通状況分析結果を共有 ② 対策の具体化検討 <ul style="list-style-type: none"> ・TDM実証実験の実施予定時期と実施内容の検討 ・栗東水口道路Ⅱにおける優先整備区間の整理方針の検討 ③ 主要渋滞箇所見直しの検討状況の共有

2. 大津南部地域WGの開催結果

- 令和6年度第1回大津南部地域WGでは、瀬田川渡河部における交通流動分析結果、本WGの検討対象とする大津南部地域の主要渋滞箇所の対策案等について情報共有や意見照会を行った。
- 結果、TDM施策やピンポイント対策の実施については、県内の交通状況が大きく変わると想定される令和7年度秋以降の実施を想定するが、必要に応じて個別の施策については、前倒しで実施していくことで了解を得た。

■ 令和6年度第1回大津南部地域WGの開催結果概要

開催日時	令和6年11月21日(木)10:00～11:30	<div data-bbox="1301 419 1520 482" data-label="Caption"> <p>開催の様子</p> </div> 
開催場所	滋賀国道事務所 3F 大会議室	
議事	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度開催結果と令和6年度の対応方針 (2) 瀬田川渡河部における交通流動分析 (3) 新浜町西、新浜町交差点における対策検討 (4) 鳥居川、唐橋西詰、神領交差点における対策検討 (5) 今後のスケジュール 	
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○滋賀国道事務所 ○滋賀県土木交通部道路整備課 ○滋賀県土木交通部道路保全課 ○滋賀県土木交通部交通戦略課 ○滋賀県大津土木事務所 ○滋賀県南部土木事務所 ○大津市 ○草津市 	
議事要旨	<p>瀬田川渡河部における交通流動分析結果、本WGの検討対象とする大津南部地域の主要渋滞箇所の対策案等について情報共有や意見照会を行った。主な内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞が解消した場合、逆に公共交通から車に転換してしまう可能性について指摘があったが、自動車から公共交通への転換は限定的であることが想定されるため、短期的な目標として、管内の渋滞緩和に向け、公共交通の利用促進等のTDM施策について、WGで引き続き検討していくことで合意を得た。 ・ 路線バスの定期代よりも自家用車で送迎を行った方が、費用負担が少ないという意見もあることから、TDMの呼びかけを行う際には、メリットとなる情報が重要であるという指摘があった。また、TDMの事例として、JR草津線の利用促進に関する参考情報の提供が滋賀県交通戦略課よりあった。 ・ 鉄道の利用を促進するためには、駅への移動手段もあわせて検討しておくことが重要であるが、駅前の自転車駐輪場が満車状態であれば自転車利用者の利用が難しいため、駅前の自転車駐輪場の整備についても、検討が必要との意見があった。また、バスの利用を促進する場合においても、バスの定時性が確保されないとバスが利用されにくいいため、バスレーンを設置する等のバスの定時性確保に向けた施策が必要との意見があった。 ・ 滋賀県大津土木事務所より、新浜町付近で商業施設の開業が想定されており、それに伴い新浜町交差点にて右折レーン対策等を想定していることについて情報提供があった。また唐橋東詰交差点については、区画線を修正することで右折レーンを確保する対策を検討していることについて情報提供があった。 ・ TDM施策やピンポイント対策の実施については、県内の交通状況が大きく変わると想定される令和7年度秋以降の実施を想定するが、必要に応じて個別の施策については、前倒しで実施していくことで了解を得た。 	

3. 南部甲賀地域WG(第2回)の開催結果

- 令和6年度第2回南部甲賀地域WGでは、主に前回WGでの指摘事項を踏まえた分析、TDM施策の実施に向けた検討等について協議を行った。
- 結果、TDMの実証実験は、チラシ配布等の取り組みを令和7年9月～令和8年1月頃に行うこととした。また、栗東水口道路Ⅱについては、課題の多い区間を可視化していき、優先的に整備を行う箇所を今後検討することとなった。

■ 令和6年度第2回南部甲賀地域WGの開催結果概要

開催日時	令和7年2月28日(金) 15:00～17:15	<div data-bbox="1232 421 1446 478" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">開催の様子</div> 
開催場所	滋賀国道事務所 3F 大会議室	
議事	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第1回南部甲賀地域WGでの協議結果 (2) 第1回南部甲賀地域WGでの指摘事項を踏まえた分析について (3) TDM施策の実施に向けた検討について (4) 新たな主要渋滞箇所の選定について (5) 今後の予定 	
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○滋賀国道事務所 ○滋賀県土木交通部道路整備課 ○滋賀県土木交通部道路保全課 ○滋賀県土木交通部甲賀土木事務所 ○湖南市 ○甲賀市 	
議事要旨	<p>第1回南部甲賀地域WGでの指摘事項を踏まえた分析やTDM施策の実施に向けた検討、新たな主要渋滞箇所の選定等について情報共有や意見照会を行った。主な内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回WGで指摘があったダイハツ工業の工場停止期間の交通状況について、交通状況をETC2.0データで確認したところ、国道1号には大きな影響がなかったことを情報共有した。 ・ TDMの実証実験は、令和7年9月～令和8年1月頃に行うこととした。また、TDMでは、まずはチラシ等でTDMの内容を周知することとなった。 ・ 主要渋滞箇所の追加候補箇所を検討中であることを報告した。 ・ 栗東水口道路Ⅱの区間内において、交通の課題に関する各種を引き続き精査していくことで、課題の多い区間を可視化していき、約7kmの区間において、優先的に整備を行う箇所を今後検討することとなった。 	

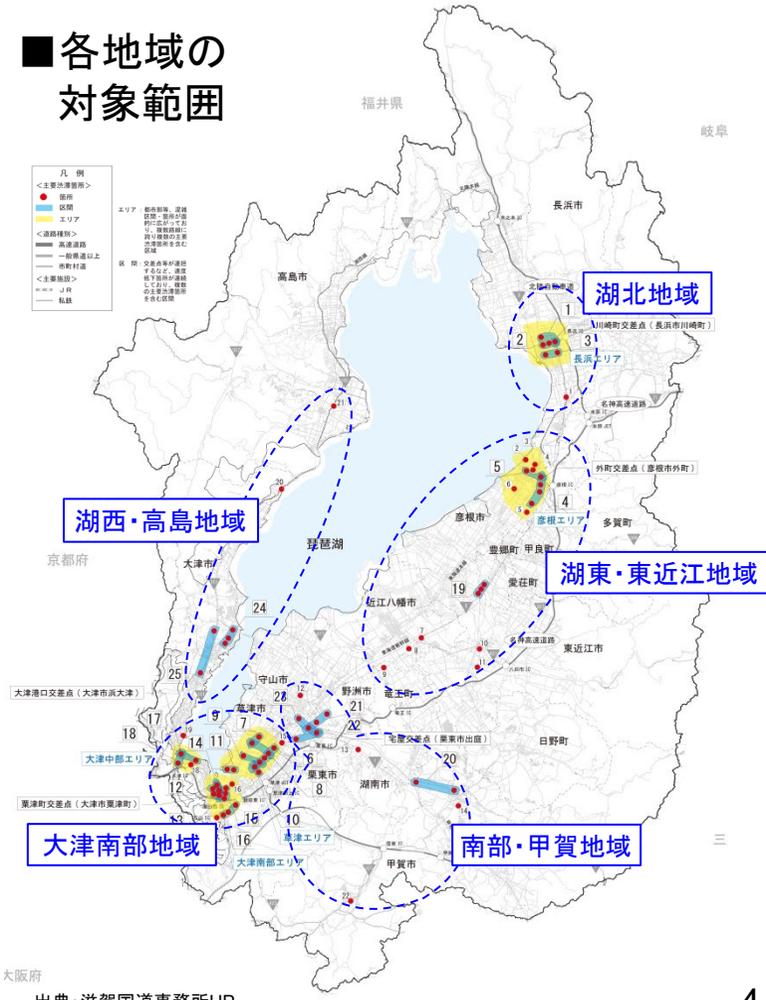
4. 今後の開催予定について

- 各地域の交通状況にフォーカスすることで効果的な対策の立案に繋げることを目的として、地域WGを開催。
- 今年度は、南部甲賀エリアの一部において令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果にて混雑度が2を上回る程混雑状況の著しい区間もあることを踏まえ、南部甲賀地域においても地域WGを新たに立ち上げ開催したほか、過年度に引き続き、滋賀県の中心部であり主要渋滞箇所が多く残存しているなど対策必要性の高い大津南部地域において地域WGを開催した。
- 大津南部地域WG、南部甲賀地域WGは来年度以降も引き続き開催予定。

■地域WG開催概要・全体スケジュール

地域	概要	R5	R6	R7	R8
大津南部地域	・滋賀県内で主要渋滞箇所及び対策検討中箇所が最も多く対策必要性が高いため、 令和5年度にWGを開催。令和6年度も引き続き開催予定。				
南部・甲賀地域	・令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果において、混雑度が2.13と管内の他路線に比べて高い値を示している区間もあることから、 令和6年度に設置。	準備			
湖西・高島地域	・湖北バイパスの整備及び湖西道路の整備、小松拡幅の整備の進捗を踏まえて、必要に応じてワーキンググループの設置を想定。		必要に応じて設置を検討		
湖東・東近江地域	・大津南部地域に次いで主要渋滞箇所が多い。大津南部や南部・甲賀地域での検討状況を踏まえつつワーキンググループを再開することを想定。		必要に応じて設置を検討		
湖北地域	・塩津バイパスの現道拡幅や米原バイパスの整理等の進捗を踏まえて、必要に応じてワーキンググループの設置を想定。		必要に応じて設置を検討		

■各地域の対象範囲



出典: 滋賀国道事務所HP